

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20～3,301

TEL: 045～717～8575 FAX: 045～717～8683

11月、中国の負極材料市場の動向

2024年10～11月、新エネルギー自動車市場の生産量と販売量がともに伸びている。、動力電池企業では負極材への需要が高まっており、負極材産業の稼働率が上昇し、市場供給量が増加した。

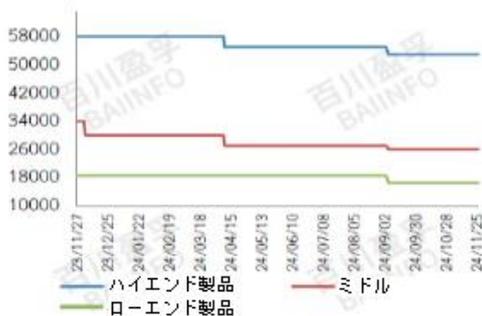
10月、負極材料の生産量は17万5,300トンで、前月より24.95%増加した。11月の生産量は15万9,400トン、減少していたが、12月は増加傾向にあると見込まれている。



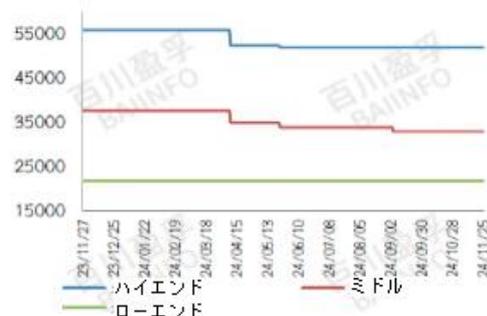
出典：隆衆資訊

図1. 月別の負極材料生産量と設備利用率の推移 (2024年1月～11月)

11月のリチウムイオン電池用負極材料の平均価格は32,000元/トン(約68.30万円/トン、1元≒21.30円、以下同)であった。そのうち、ハイエンド製品の価格は43,000～65,000元/トン(91.59～138.45万円/トン)、ミドル製品は22,000～31,000元/トン(46.86～66.03万円/トン)、ローエンド製品は15,000～20,000元/トン(31.95～42.60万円/トン)であった。図2は人造黒鉛負極材と天然黒鉛負極材の価格推移を示している。



人造黒鉛負極材料の価格推移 (元/トン)



天然黒鉛負極材料の価格推移 (元/トン)

出典：百川盈孚 (BAIINFO)

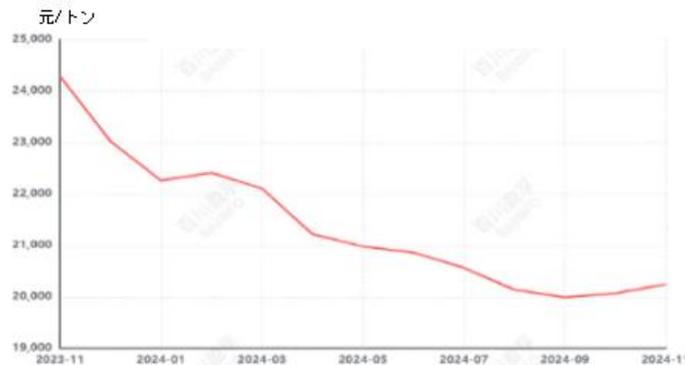
図2. 人造黒鉛負極材と天然黒鉛負極材の価格推移 (2023年11月～2024年11月)

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

原料の石油コークスの価格上昇を受け、11月の負極材料コストは約20,245元/トン(43.12万円/トン)で、前月より178元/トン(0.38万円/トン)高くなった。低硫黄分石油コークスの価格は前月より118元/トン(0.25万円/トン)、中硫黄分石油コークスは115元/トン(0.24万円/トン)と共に上昇した。一方、ニードルコークスの生コークスの価格は165元/トン(0.35万円/トン)値下がりし、黒鉛化加工の価格は低いレベルで推移した。



出典：百川盈孚 (BAIINFO)

図3. リチウムイオン電池用負極材料のコスト推移 (2023年11月~2024年11月)

今後、新エネルギー自動車市場は好調に伸び、エネルギー貯蔵の市場需要は徐々に回復しているため、負極材の受注量はさらに増加する見込みである。

一方、負極材市場の供給過剰が続く中で、市場シェアの更なる拡大を図り、新規建設や生産拡大に取り組んでいる企業もあるため、負極材市場の競争はさらに激化し、短期間では低価格競争の状況は変わらないと推測される。そのため12月の負極材価格は低いレベルで推移すると予測されている。

情報源：石墨盟